

福井県警察交通安全施設長寿命化計画

福井県警察
令和2年3月
(令和5年1月改訂)

目次

I	計画の位置付け等	
1	策定の目的	1
2	対象施設	1
3	計画期間	1
II	現状と課題	
1	現状	1
2	課題	1
III	対策の方針	
1	メンテナンスサイクルの構築	1
2	実効性のある点検・診断の実施	2
3	ストックの適切な管理	2
4	適切な修繕・更新等の実施	2
5	予算の確保と効率的な執行	2
IV	対策の内容	2
1	点検体制等の充実	2
2	維持管理・更新等の方針	2
3	長寿命化のための取組	3
4	安全性の確保	3

I 計画の位置付け等

1 策定の目的

この計画は、国が平成25年度に策定した「インフラ長寿命化基本計画」及び県が平成27年度に策定した「福井県公共施設等総合管理計画」に基づき、施設類型ごとの対応方針を定める長寿命化計画（個別施設計画）である。

予防保全的な維持管理や計画的な修繕等を効果的に実施し、利用者の安全・安心を確保するとともに、施設の長寿命化を推進し、ライフサイクルコストの縮減や費用の平準化を図る。

2 対象施設

- (1) 信号機
- (2) 信号柱
- (3) 道路標識

3 計画期間

計画期間は、「福井県公共施設等総合管理計画」に準拠して令和7年度までとする。

なお、計画期間中であっても、社会情勢の変化や本計画の進捗状況等により、内容の修正が必要となった場合には、適宜見直すものとする。

II 現状と課題

1 現状

信号機を始めとする交通安全施設は、交通の安全と円滑を図る上で極めて高い効果を発揮するものであり、道路交通環境に応じて必要性の高い箇所に整備してきた。

一方で、過去に整備した交通安全施設が大量更新時期を迎え、その老朽化が深刻な状況となっている。

2 課題

交通安全施設の機能を確実に発揮し続けるためには、その実態を把握して、必要性の低くなった施設については、撤去を含め見直しを図るなど、中長期的な維持管理・更新等に努める必要がある。

III 対策の方針

1 メンテナンスサイクルの構築

設置した交通安全施設の機能を維持するため、継続的かつ定期的な点検・診断を実施し、その結果に基づき、計画的、効果的な補修・更新等を実施するとともに、これらの履歴を次回の点検に活用するというメンテナンスサイクルを構築する。

2 実効性のある点検・診断の実施

信号柱、道路標識の倒壊等の事案を未然に防止するため、補修、更新、撤去等の必

要な対策を適切な時期に実施する。

点検頻度、点検項目、点検に際して統一的に運用すべき事項について、一定の基準を示し、継続、建替、廃止の判断を適切に判断していく。

3 ストックの適切な管理

将来にわたって必要な交通安全施設を整備し、適切に維持管理・更新を行うため、中長期的視点に立ったストックの適正な管理を進める。

4 適切な補修・更新等の実施

これまでの点検・診断結果や施設の重要度等から優先順位を設定し、経費の平準化にも配慮しながら、必要性の高いものから順に対策を講じるとともに、必要に応じて強度や防錆効果を高める措置を講じるなど、長寿命化を図る。

5 予算の確保と効率的な執行

限られた予算を効果的、効率的に活用するため、予算の平準化を踏まえつつ、必要な予算、事業量の確保を図り、予算執行を効率的に行う。

IV 対策の内容

1 点検体制等の充実

継続的・定期的な点検診断の実施	<ul style="list-style-type: none">○ 日常的な点検・診断のほか、専門的な知見を有する業者による定期的な点検・診断を実施し、施設の状態を適切に把握する。○ メンテナンスに関する情報については、データベース化して情報の収集・蓄積を推進する。
点検項目の見直し	<ul style="list-style-type: none">○ 信号柱、道路標識の点検は、地上からの目視、打音、触診等のほか、必要に応じて高所作業車による直接点検を実施するなど、設置場所や点検部位等を踏まえた点検項目の見直しを検討する。
健全性の判定	<ul style="list-style-type: none">○ 交通安全施設ごとに適切な点検頻度を設定するとともに、診断の実施に当たっては、統一的な基準の設定に努める。

2 維持管理・更新等の方針

更新基準	<ul style="list-style-type: none">○ 信号制御機の更新基準は、製造後概ね19年とし、点検結果や補修履歴等を踏まえて、更新の必要性が高いと認められる信号制御機から優先的に更新する。○ 信号柱及び道路標識については、設置環境により老朽化が進む速度が変動することから、経過年数だけではなく、点検結果を踏まえた上で総合的に判断する。
ストックの適切な管理	<ul style="list-style-type: none">○ 信号機は、利用状況や地域の実情等を踏まえて必要性を再検討し、必要性が低くなったものについては、その見直しを図る。

	特に、一灯点滅式信号機、横断利用者が大きく減少した押しボタン式信号機、道路交通環境の変化等により交通量が減少した信号機については、地域住民や道路利用者に必要な説明を行った上で、撤去を検討する。
--	--------------------------------------------------------------------------------------------------

3 長寿命化のための取組

長寿命化対策	○ 故障、機能低下、倒壊等を未然に防止し、本来の機能を適切に維持するため、交通安全施設の周辺環境や使用機材の材質等を踏まえ、必要に応じて強度や防錆効果を高める措置を講じるなどの取組を推進する。
--------	--------------------------------------------------------------------------------------------------

4 安全性の確保

安全対策	○ 施設の安全上問題となる不具合が発見された場合には、早期に不具合の解消を図り、安全性を確保する。
------	---------------------------------------------------